

2025 年 7 月 9 日

報道関係者各位

慶應義塾大学 SFC 研究所

共創の場形成支援プログラム(COI-NEXT)
リスペクトでつながる「共生アップサイクル社会」共創拠点
(プロジェクトリーダー: 環境情報学部教授 田中浩也)が
「第2回 鎌倉サーキュラーアワード」を開催
―市民・事業者・起業家を対象とした 3 つの部門を同時開催―

慶應義塾大学が代表機関となり、幹事自治体の鎌倉市、参画企業(幹事企業:株式会社カヤック)、参画大学と進めている国立研究開発法人科学技術振興機構(以下 JST)による「共創の場形成支援プログラム(COI-NEXT)」の一拠点「リスペクトでつながる『共生アップサイクル社会』共創拠点」は、日本の「循環型まちづくり」に関する拠点形成を目指しています。そこで昨年に引き続き「第2回 鎌倉サーキュラーアワード」を開催いたします。

本アワードは、鎌倉市の「ゼロ・ウェイストかまくら」の取り組みを礎とし、「循環者になるまちづくり」へ発展させながら、最終的に「循環型ビジネス(サーキュラーエコノミー)」創出にまでつながっていくことを目指す、市民、事業者、起業家を対象とした 3 つの部門からなるアワードです。それぞれの立場から取り組みを披露し、磨き合い、高め合うことを目的としています。

3部門のうちスタートアップ部門は、全国からの応募が可能です。また市民部門は、「湘南エリア」に在住、勤務、もしくは定期的に通っている(サーフィン、買い物等)、個人、家族、チーム(友人同士など)が応募できます(鎌倉市在住でなくても「湘南」に関わっていると自認されていれば、応募が可能です)。

応募登録の開始は 8 月 1 日(金)、締め切りは、9 月 24 日(水)で、本アワードの結果発表と表彰式は、11 月 8 日(土)に鎌倉女子大学大船キャンパスで開催される「第3回循環創造学シンポジウム」の一部として開催される予定です。



■第2回 鎌倉サーキュラーアワード概要

1. 市民部門「戸別収集が楽しく、うれしくなるアイデア大募集！」

応募内容：

鎌倉市では 2025 年 4 月から、一部地域で「燃やすごみ」の戸別収集が開始されました。これは、集積所の維持管理やごみ出しに係る負担の軽減を目的に、藤沢市、平塚市の一部、葉山町、茅ヶ崎市（一部地域をモデルとした実証実験）など近隣自治体でも既に導入が進められているものです。戸別収集には、「自宅前に出せて楽」「清潔な環境が保てる」といったメリットがある一方で、各家庭で対応することになる動物被害対策やごみの出し方への住民意識の差、近隣とのつながりの希薄化が懸念されるなどの課題もあります。

こうした中で、戸別収集を単なる“効率的な制度”として終わらせず、地域や人とのつながりを育みながら、もっと楽しく、前向きに取り組める形へと進化させることが求められています。そのため本コンテストでは、鎌倉市に限らず、すでに戸別収集が導入されている藤沢市・葉山町など広い地域から、戸別収集を「楽しく、うれしく、地域や環境にも優しいもの」とするアイデアを募集し、環境意識や地域への愛着、自分ごととしての関心を高めるきっかけになればと考えています。

「自治会でお揃いのごみ箱を使って愛着を高めよう」「ごみ収集の車の音を楽しい音楽に変えてみよう」など、考えていたら楽しくなるようなアイデアを募集します！

応募資格：

「湘南エリア」に在住、勤務、もしくは定期的に通っている、個人、家族、チーム（友人同士など）が応募できます。お子様からお年寄りまで、年齢にかかわらず応募することができます。鎌倉市在住でなくても「湘南」に住んでいると自認されていれば、応募が可能です。

賞品・賞金：

金賞 10 万円 銀賞 5 万円 銅賞 3 万円、今後の展開へのアドバイス

※小中学生が受賞された場合には、図書カード及び商品券に換えてお渡しいたします。

※応募くださった方、全員に“循環者市民賞”が贈呈されます。

審査員:

鎌倉市教育長 高橋 洋平氏

フローリスト 前田 有紀氏

デザインリサーチャー エドワード増井氏

2. スタートアップ部門

「鎌倉をフィールドに挑戦するサーキュラースタートアップを熱烈支援！」

応募内容:

持続可能な社会の実現に向けた革新的なビジネスモデルを創出することを目指し、サーキュラーエコノミーに基づいたスタートアップを支援するビジネスプランを募集するスタートアップ部門です。循環型社会の先駆者として、循環型都市鎌倉での実証実験を通じて、皆様の事業を全国に広げていくアクセラレーションとなることを目指しています。

応募資格:

サーキュラーエコノミーに基づくビジネスモデルを持つスタートアップ企業が応募できます。企業の所在地は問いません。

賞品・賞金:

- ・金賞 30 万円 銀賞 5 万円 銅賞 3 万円
- ・事業性と社会性、地域性とスケラビリティを両立するためのメンタリング
- ・実証実験の実施に向けた相談・マッチング

審査員:

面白法人カヤック 代表取締役 CEO、COI-NEXT 慶應鎌倉拠点 副 PL 柳澤 大輔氏

三井住友信託銀行株式会社 サステナビリティ推進部TBFチームシニアマネージャー、サーキュラーエコノミー・ネイチャーポジティブ1号ファンドアドバイザー 小中 洋輔氏

日本経済団体連合会 副会長／ヴェオリア・ジャパン代表取締役会長 野田 由美子氏

『WIRED』日本版 編集長 松島 倫明氏

3. 事業者部門「ゼロ・ウェイストかまくら、そして地域にも地球にも貢献する事業へ！」

応募内容:

鎌倉に本社・支社を置く事業者で、経営改善や効率化(各種ロス削減やサービス向上など)の取り組みから「ごみ減量」の成果が生まれているもの、また、社員発の草の根の取り組みから、社長の一存による大胆な取り組みまで、社内外の取り組みで事業系ごみを持続的に減らしている活動などを幅広く募集し、委員会の確認を経て認定します。事業や会社の規模は問いません。取り組みを「定量化(数値化)」してレポートする方法については、実行委員会より適宜アドバイスも行います。また本年度より、「世界に誇れる共生循環事業」と題して、共生と環境に取り組んでいる企業を、国際的な認定基準にも照らし合わせ、多面的に評価する試みを実験的に開始する予定です。

応募資格:

鎌倉市内に支社・本社を置く事業者であれば大小問わず応募できます。

認定委員:

鎌倉商工会議所 会頭、株式会社豊島屋 代表取締役社長 久保田 陽彦 氏

鎌倉商工会議所 副会頭、有限会社ナカムラ生花 代表取締役 中村 悟氏

株式会社井上蒲鉾店代表取締役 鎌倉市芸術文化振興財団理事長 牧田 知江子氏

株式会社千里 代表取締役 面白法人カヤック 顧問、公益財団法人鎌倉能舞台 評議員 湯澤 大地氏

賞品:認定事業者 表彰状、ステッカー、マップへの掲載ほか

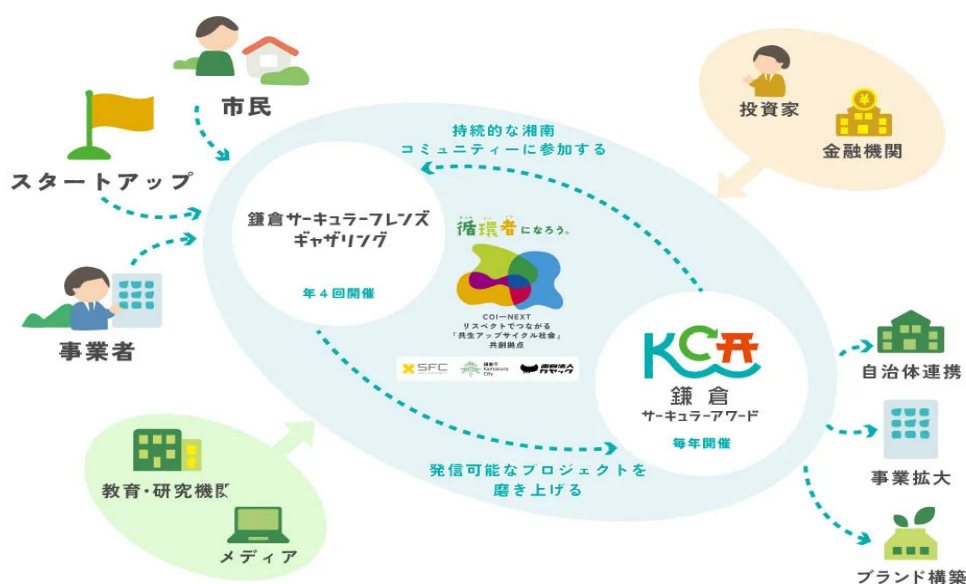
実行委員長のコメント

田中 浩也

慶應義塾大学環境情報学部 教授、COI-NEXT 慶應鎌倉拠点 プロジェクトリーダー



私も 2011 年より鎌倉市民です。このまちに住みついて以来、地球やまちを愛し、ごみ減量や資源循環に能動的に携わる市民や事業者の方々、そして起業を志す方々とたくさん知り合うことができました。このアワードは、そうした地域に根付いた「文化」をさらに未来につなげていくために企画したものです。昨年の第1回では、3部門あわせて 117 件もの応募があり、審査会は大きな熱気に包まれました。それぞれの取り組み方は実に多種多様でした。そこでアワード後には「ギャザリングパーティー」を開催し、お互いの取り組みをリスペクトしあいながら、より良い試みを目指して切磋琢磨し、共創していくエコシステムを整備しています。こうした経緯のもと、本年は第2回を開催します。各部門の内容もそれぞれアップデートしておりますので、みなさま詳細ご確認のうえ、奮ってご応募ください。



鎌倉サーキュラーアワードと鎌倉サーキュラーフレンズギャザリングを両輪としたエコシステムの構成図

※本プレスリリースは、新聞各社社会部等に配信しております。

【本件についてのお問合せ先】

URL : <https://coinext.sfc.keio.ac.jp>

Email : dmec@sfc.keio.ac.jp

【配信元】

慶應義塾大学 湘南藤沢事務室 学術研究支援担当

E-mail: kri-pr@sfc.keio.ac.jp